

電子工学（エレクトロニクス）は現代社会を支える根幹技術の一つであり、その重要性については議論を待ちません。それを支える共通的な基盤技術としてシミュレーション技術があります。その研究開発は、独創的なアイデアを容易に検証し付加価値の高い成果へと効率よく結実させるためにも必要不可欠となっています。そこで EST 研究会では 2012 年度より毎年、エレクトロニクスシミュレーション技術に関する特集を企画してまいりました。引き続き、「シミュレーション」というエレクトロニクス分野の共通的なテーマに関する最先端の研究成果を世に広め、技術立国日本の将来に資するために、「エレクトロニクス分野におけるシミュレーション技術の進展特集」（2022 年 5 月）の発行を企画致しました。対象分野は、各種エレクトロニクス分野におけるシミュレーション技術、理論、その高速化技術、マルチフィジックスシミュレーション技術、シミュレーション技術の産業、教育応用など全般としていますので、皆様からの積極的な御投稿をお待ちしております。

## 1. 対象分野

電子工学一般（電磁波／光／熱／流体／物性など）のシミュレーション全般が対象で、トピックスを以下に示しますが、これらに限定するものではありません。

- ・エレクトロニクスシミュレーションの技術、理論
- ・エレクトロニクスシミュレーションの高速化技術、理論
- ・マルチフィジックス（複合）シミュレーション
- ・エレクトロニクスシミュレーションの産業、教育への応用

## 2. 論文の執筆と取扱い

通常の和文論文誌と同様とし、論文は刷り上がりページ数 8 ページ程度、ショートノートは 2 ページ程度とします。執筆の詳細は「電子情報通信学会和文論文誌 投稿のしおり（エレクトロニクスソサイティ）」を御参照下さい。

([https://www.ieice.org/jpn/shiori/es\\_mokuji.html](https://www.ieice.org/jpn/shiori/es_mokuji.html))

なお、査読後の再提出期間（通常は 60 日）を短縮する必要があることをあらかじめ御了承下さい。

## 3. 論文投稿締切日 2021 年 7 月 9 日（金）

掲載料支払期限 2022 年 1 月 25 日

※掲載料前払い制導入に伴い、上記の支払期限が設けられておりますので御注意下さい。

詳細は以下 URL を御参照下さい。

[https://www.ieice.org/jpn/shiori/es\\_6-10.html#7.1](https://www.ieice.org/jpn/shiori/es_6-10.html#7.1)

## 4. 投稿方法

[https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx) にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイル・編集用電子ファイルを登録し、WEB 上で著作権譲渡手続きを進めて下さい。投稿手続きについて御不明な点が御座いましたら、学会事務局まで御連絡下さい。

### 【学会事務局連絡先】

一般社団法人電子情報通信学会 編集出版部論文課

E-mail : [wabun-c@ieice.org](mailto:wabun-c@ieice.org)

## 5. 問合せ先

阪本卓也 京都大学大学院工学研究科電気工学専攻

TEL : [075] 383-2257, E-mail : [sakamoto.takuya.8n@kyoto-u.ac.jp](mailto:sakamoto.takuya.8n@kyoto-u.ac.jp)

## 6. 特集編集委員会

委員長 大寺康夫（富山県立大）

幹事 阪本卓也（京大）

編集委員 江口真史（千歳科技大）、岡部 寛（村田製作所）、萱野良樹（電通大）、五味宏一郎（東芝）、塩見英久（阪大）、須賀良介（青学大）、鈴木敬久（都立大）、關根惟敏（静岡大）、日景 隆（北大）、藤田和広（富士通）、安井 崇（北見工大）